

第2次あま市総合計画策定市民会議（第2回）会議録要旨

日時 令和2年11月15日(日)
午前9時30分から午前11時30分まで
場所 あま市役所本庁舎2階 大ホール

1 出席者等

出席者等（委員）20名
（事務局）6名
（コンサルタント）5名

2 市長あいさつ

開会にあたり、市長よりあいさつが行われた。

3 副会長あいさつ

会長が欠席のため、副会長よりあいさつが行われた。

4 本日の進め方説明（コンサルタント）

本日の進め方などについて、以下のとおり説明。

- ・市民会議2回目のテーマは、「あま市の魅力をみつけよう！」である。
- ・各グループで、あま市の魅力と、どのように活かせるかについて話し合いまとめていただき、最後に発表を行っていただく。
- ・第2回の説明に入る前に、第1回で出されたアイデアを5ページと6ページにまとめているので、ご覧いただきたい。
- ・それでは、本日のグループワークについて、前半は次のとおり進める。
 - ①まず、各自が魅力（資源）を考えて黄色のポストイットに記載する。1枚には1つの事柄を記載する。
 - ②進行役の案内で、1人1枚ずつ、ポストイットに書いた魅力（資源）を発表していただく。その際、同じ内容を書いた人は、続けて発表していただく。
 - ③皆さんの意見をまとめ、魅力（資源）を整理する。
- ・後半は次のとおり進める。
 - ①各自で魅力（資源）をどのような形で活用できるかを考えて、ピンク色のポストイットに記載する。
 - ②前半に整理した魅力（資源）ごとに、活用方法を整理する。

5 グループワークの実施（委員及びコンサルタント）

各グループにてグループワークを実施。

6 発表内容

Aグループ

【作成ボード】

魅力	魅力(資源)の内容	活用方法
1 甚目寺観音	<ul style="list-style-type: none"> ・甚目寺観音での祭りがある。 ・尾張四観音の甚目寺観音 ・パワースポット ・1日、12日のマルシェ ・甚目寺のアジサイ ・甚目寺の朝市(子どもも大好き) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター等を駅に貼りだしてPRする。 ・観光&食のルートマップを作る。 ・節分の歴史や新たなイベントのPR ・朝市のお客さんに甚目寺観音に興味を持ってもらうガイド ・市内の銘店市の開催
2 たくさんの公園	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いっきり走りまわれる」アートヴィレッジの広場 ・公園の数が多。 ・景色がきれいなアートヴィレッジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別使用公園にする。 ・ボールで遊べるようにしたり、フェンスを高くしたり、増やしたりして、遊びの幅を増やす! ・企業とコラボしてキャンプ場、釣り ・町の駅に提供
3 七宝焼	<ul style="list-style-type: none"> ・エルメスもツタンカーメンの青い所も七宝焼 ・七宝焼の窯元が何軒か ・天皇陛下もご訪問されたアートヴィレッジ 	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝駅からアートヴィレッジまで来やすくなる交通や木田駅南東エリアの交通 ・周辺の店舗を増やす。 ・春と秋の文化祭はここで(出店は地元の銘店限り) ・企業に売り込む(ヴィトン、トヨタ、ポルシェのエンブレム) ・世界へ向けてアクセサリなど新しい形 ・身近になれば(普段使い) ・市章、校章の作成
4 歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国武将 ・文化の杜 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国、世界にPRできるようなイベントをする。
5 田舎でも便利	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路、名鉄電車などアクセスがいい。 ・名古屋から近い。 ・電車が10~15分に1本はあり便利 ・東西南北が分かりやすい。 ・都市や自然(山、海)が近い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の見直し。 ・ライフスタイルの提供
6 自然が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・都会に近い田舎 ・田園風景 	<ul style="list-style-type: none"> ・川を浄化しホテルを呼ぶ。 ・田んぼで遊べるイベント
7 伝統・食材	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝みそ ・伝統野菜の方領大根 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育として農業体験(育てる~食べるまで) ・付加価値のついた野菜づくり ・野菜ソムリエ監修など付加価値 ・食べる機会(給食、スーパー) ・伝統野菜や食材を利用したみそ汁やみそ鍋作り
8 素朴	<ul style="list-style-type: none"> ・人が素朴 	—
9 渋い	<ul style="list-style-type: none"> ・甚目寺、カフェ、みそ、革など 	<ul style="list-style-type: none"> ・渋さを発信

【発表内容】

- ・甚目寺観音では、甚目寺観音での祭りがある、尾張四観音の甚目寺観音、1日・12日のマルシェ、アジサイがきれいなどといった意見が出た。活用方法としては、ポスター等を駅に貼りだしてPRする、観光&食のルートマップを作る、市内の銘店市の開催、朝市を行うという意見が出た。また、節分など歴史を学ぶことによって、新しいイベントができると思った。
- ・たくさんの公園では、公園は多くあるもののボール遊びができないなど、利用規制が多い。アートヴィレッジは広く走り回れるが、そのようなところが少ない。そのため、活用方法としては、年齢別に使用公園を位置づけることや、ボールで遊べるようにするためフェンスを高くするなどという意見が出た。アートヴィレッジは景色がよいので、企業とのコラボレーションでキャンプ場とすることや、町の駅として様々なものを提供できるようにする、アートヴィレッジの周辺に店舗を増やすことが良いと考えた。また、市内の駅からは離れているため、アクセスを良くすることが挙げられた。そして、アー

トヴィレッジには、七宝焼があり、ヴィトン・トヨタ・ポルシェなどに企業のエンブレムを七宝焼で作成することの売り込みや、世界へ向けてのアクセサリ作成、身近なところでは、校章・市章に活用できると良いと考えた。

- 田舎でも便利では、名古屋駅から近く高速道路がありアクセスが良いので、都会と自然の両方を感じて生活ができるということで、様々なライフスタイルの提供ができることを広報誌などでPRが出来ればと考えた。
- 自然が多いでは、都会に近く田園風景が広がっているので、田んぼを使ったイベント、伝統・食材とのコラボレーションで食育としての農業体験、付加価値のついた野菜づくり、野菜ソムリエ監修、食べる機会を増やすということで、給食やスーパーなどで使用して身近に感じてもらうということが良いと考えた。そして、七宝みそなどの伝統野菜を使ったみそ汁やみそ鍋作りブームを起こせると良いと考えた。
- 全体的としては、渋さこそが魅力であり発信できればと考えた。

Bグループ

【作成ボード】

魅力	魅力(資源)の内容	活用方法
1 名古屋に近い	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋駅から15分と近く、自然が多い。※近郊田園都市実現 ・名古屋に電車1本で行けること。 ・名二環、東名阪、新幹線(将来リニア)など交通アクセスがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベットタウンとして発展していく? ・駅までの巡回バス ・七宝駅をあま市中心のあま市駅にする。 ・休日に名古屋の人があま市で遊んで、あま市に沢山来てもらう。 ・あま市の目玉を作り、PRする。
2 発展途上の市	<ul style="list-style-type: none"> ・地形が平坦。 ・自然がいい。 ・住宅地と自然(田)が両方ある。 ・スポーツなどがやりやすい場所がある。 ・公園が沢山ある。 ・ハイキングに行ける山が近くにある。 ・名古屋に近く、地価が安く、移住しやすい。 ・スーパーの食料品は名古屋より安い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設をつくる。 ・住宅だけではなくて田んぼなども増やしていく。 ・働く場を作る。 ・地域の将来の姿をビジュアル化する。 ・他県の小・中学生に修学旅行にあま市を選んでもらえること…。 ・自然豊かな田園都市にする。 ・豊かな自然を残しながら、企業誘致できる? ・大きい公園を作る。 ・自然を残しつつ住宅を増やす。 ・あま市民病院をもっと活用する。 ※老人を大切にする病院。
3 歴史・文化遺産	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的文化がある。 ・甚目寺観音、郷土の英傑など歴史文化がある。 ・4つの無形民俗文化財があること。 ・七宝焼に代表された伝統技能がある。 ・有名な戦国武将を輩出している歴史がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源としてPR ・地域住民の気持ちの拠り所になる。 ・市民にも市外の人にも知ってもらう機会を作る(展覧会など)。 ・まず愛知県から「歴史の町 あま市」というのを広めたい。 ・インターネットで全世界発信 ・七宝焼でモニュメントを作る。 ※TVで紹介してもらう。 ・市民の交流に役立てる。
4 新しい風を吹き込む地域若返り	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の中、あま市は人口が増えている。活気が残る。 ・外国人の方もあま市に住んでいること。 ・人口が減少していない。 ・市の規模が大きくもなく、小さくもない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あま市の映画を作る。 ・治安がいいことをアピール ・住民の保守的な意識からの脱却 ・異文化交流、世代間交流 ・子育てがしやすい環境をつくり、ずっとあま市に住み続けてもらいたい。
5 炭次郎みたいな人	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動を積極的に行っているシニアの人たち ・朝市 ・礼儀正しい人が多い(ように感じる)。 ・車の運転マナーがいいと、名古屋から来る人が言っている。 ・郷土愛を持っている人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「素敵なお人」をビデオで作りPRする。 ・もっと郷土愛を増やせるように、沢山の交流を増やす。 ・市民が心豊かに過ごせるための人々の交流を大切にしたい。 ・インスタ映えを作る。 ・インスタで「#我らのあま市」というのを若い世代に使ってもらい、全国に広める。

【発表内容】

- ・大きく分けるとインフラとあま市の人柄という視点の意見が出た。インフラについては、名古屋に近く発展途上の市であることである。名古屋市へ電車を使って15分程度で行けることや、高速道路のアクセスが良いことである。発展途上の市とは、住宅地と田んぼ自然が残っており、平坦であることである。これらを活かして、あま市のそれぞれの地区から駅までの巡回バスを出し名古屋へ行き易くすることや、休日には名古屋の人に来ていただくように遊べる場所ができると良いという意見が出た。商業施設を増やして活発にすることや、大きな公園を作る、田んぼを残しつつも住宅地を増やすことを活用として挙げている。
- ・歴史・文化遺産については、アートヴィレッジや七宝焼、甚目寺観音、郷土の英傑など、

あま市の人やあま市以外の人に知っていただくため、展覧会を開催、インターネットやインスタグラムを通じて世界に発信していくことが良いと考えた。

- 新しい風を吹き込むでは、人口が微増しているので、若者に来ていただいて増えることにより、地域を活性化させる。そして、若者が地域を活性化させるということで炭次郎みたいな人を挙げた。炭次郎みたいな人とは、若い人が、あま市の高齢者に文化や伝統を聞き、その内容を若者が身に付けていき、活性化につなげるという思いで挙げた。

Cグループ

【作成ボード】

魅力	魅力(資源)の内容	活用方法
1 産業	<ul style="list-style-type: none"> 七宝焼 七宝焼職人がいる イルミネーション アートヴィレッジがある。 朝市がある(マーケットイベント) 毎月12日に甚目寺観音くらしの朝市 毎月第2日曜日、甚目寺駅ロータリーつなぐ市場(7~9月は土曜日夜) 	<ul style="list-style-type: none"> アートヴィレッジを使った地元産業だけのお祭りをする。 七宝焼ならアクセスOKの校則 七宝焼で流行に乗る。 人気アニメとのコラボ あま市まとめサイト
2 飲食	<ul style="list-style-type: none"> オリーブオイル 七宝みそ、しょうゆ 小松菜や方領大根、かぶと米などの特産品 飲食店がたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店で特産品を使ったメニューを考えてもらう。 調理実習で使う。 購買で売る。 みそ、小松菜が、もっと地元で気軽に買えるように。 それぞれの専門のカフェをつくる。
3 歴史	<ul style="list-style-type: none"> 歴史のある建物 節分(恵方) 漆部神社(日本唯一の漆物、塗物の神様) 萱津神社(日本で唯一漬物の神様) 歴史がある。利家とまつ(大河ドラマ) 甚目寺観音(鎌倉時代~) 	<ul style="list-style-type: none"> 大人になっても歴史を学べるツアー 歴史スポットめぐり
4 施設	<ul style="list-style-type: none"> 新しい市役所ができる。 大きな病院がある。 美和高校と五条高校 三重県と岐阜県に近い。 濃尾平野 名古屋まで近い。 自然豊か ラジオ体操 文化・スポーツ施設がたくさんある。 名古屋駅から名鉄で10分の甚目寺駅 電車や高速道路など交通の便がよい。 甚目寺駅(1日1万人の乗降客) 甚目寺駅ロータリー 甚目寺観音東門商店街 都会的でもなく田舎的でもない住みやすい環境 市長が割とシュツとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設をもっと使い方簡単に。 名古屋まで行くのではなく、名古屋から人を呼べるようなスポット作り。 スタバが出来るワクワク感と同じレベルのものを作る。 道の駅を作る。 都心の人に農地を貸す。 あま市ガイドツアーを市長がやる。
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体がある。 市民の声を聞く場がある。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSを活用する。 発信力 SNS活用を支援できる体制 甚目寺ツアー 名所めぐり(スタンプラリー) あるもの同士をつなげる。 使う、楽しむ世代自らが作る。

【発表内容】

- 産業については、アートヴィレッジ、七宝焼など有名なものがあるので、七宝焼きを使った人気アニメとのコラボレーションやアクセサリを作るなどである。そして、あま市のまとめサイトがあると魅力が分かりやすく伝わると思った。
- そして、七宝味噌や小松菜、方領大根など特産品が多くある。特産品は、農協でしか買えないので、気軽に買えるようにすると良いと思った。また、身近に感じられるように専門のカフェを作る、小中高の調理実習で食材を使い名物をつくり、高校の購買場所などで販売するのが良いと考えた。
- 歴史の視点では、漬物の神社、漆器の神社があるので、歴史を学び、スポットを巡ることができるツアーを作ると良いと思った。
- 施設では、スポーツ施設、文化施設、公園がたくさんあるので、活用案としては、利用方法を簡単にし、多くの人に利用していただけるようにすると良い。また、名古屋市に

近いので、名古屋から人を呼ぶスポットを作ることができると良い。そして、交通の便が良いので、道の駅を作り、特産品を販売することや、農地が多いので都心の人に農地を貸す事業ができると良い。市長がかっこいいので、あま市ガイドツアーを市長が行っていただけると良いと思った。

- まとめとしては、これらのことを充実させることにより全体が充実すると考えた。そして、中心にあるのは、SNSなどを活用した発信力が必要と思った。

Dグループ

【作成ボード】

魅力		魅力（資源）の内容		活用方法
1	ほどよい田舎	利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋に近い。 ・名古屋駅まで 15～20 分くらいと近い。 ・セントレアへ名鉄だけで行ける。 ・店にあまり困らない。 ・コンビニ、ドラッグストアが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致 ・木田駅、七宝駅、甚目寺駅のダイヤに合わせたバス ・名古屋市（駅）までの市営バスを走らせる。 ・便利な田舎暮らしをキャッチコピーに誘致
		田舎系	<ul style="list-style-type: none"> ・地価が安い。 ・田んぼがきれい。 ・新鮮な野菜・静かで平和な町 ・ほどよい田舎 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの農業体験 ・田んぼを使って田んぼアートを作る。 ・あま市でとれた野菜をコンビニ等で販売する。
2	子育て支援の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童なし（たぶん） ・子育て支援 ・子どもの医療費が中学卒業まで無料 	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理を進めて若い世代に住んでもらう。 ・ボール遊びができる公園をつくる。 ・若い世代へのPR
3	PRしたい観光資源	文化	<ul style="list-style-type: none"> ・街のシンボル 甚目寺観音 ・福島正則の生誕の地 ・萱津神社 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに市外からも来てもらう。 ・観光巡りツアーの実施 ・福島正則をもっと推して、大河ドラマの主演にリクエストする。
		食	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝みそがある。 ・特産物が多くある。（かぶと米、方領大根など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・特産物を使った料理教室 ・七宝みそを使った料理をふるまう。 ・七宝みそのおいしい料理レシピ ・特産物を使ったインスタ映えスイーツ
		七宝焼	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝焼 	<ul style="list-style-type: none"> ・七宝焼の体験ツアーで知ってもらう。 ・七宝焼で映えるアクセサリ作り ・七宝焼のアクセサリ、食器など SNS 受けするもの ・今流行している物を七宝焼で作る。 ・東京オリンピックに展示
4	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ラッキープラザがある。（集客） ・地域交流が盛ん 	—

【発表内容】

- ・利便性の部分では、名古屋駅に近い、コンビニ、ドラッグストアが多い、その活用として名古屋までのバスを走らせるとか、七宝駅・甚目寺駅・木田駅のダイヤに合わせたバスを走らせることである。また、企業誘致をするという意見が出た。
- ・田舎の部分では、田んぼがきれい、新鮮な野菜がとれるなどの意見があり、子どもたちの農業体験、田んぼを使った田んぼアートをつくる、取れた野菜をコンビニなどで販売するといった活用事例が出た。
- ・子育て支援の充実では、あま市長もPRしているところであるが、待機児童が無いこと、子どもの医療費が中学生まで無料なので、活用としては、若い世代に住んでいただき、子育て支援を充実していることを若い世代に知ってもらうと良いという意見が出た。
- ・PRしたい観光資源では、文化・食・七宝焼である。文化は、甚目寺観音、福島正則の生誕の地、萱津神社があり、活用事例としては、イベントに来ていただくこと、福島正則を大河ドラマの主演にリクエストするなどである。そして、食としては、七宝味噌など特産物が多くある。特産物を使った料理教室やインスタ映えスイーツを作ること、そして、食べてもらうことや知ってもらうことが良いと考えた。七宝焼は、体験ツアーで知ってもらう、今流行している物を七宝焼で作る、オリンピックで展示、SNS 受けするものを作るなどである。
- ・最後のその他としては、ラッキープラザがあることや地域交流が盛んであることが魅力という意見が出た。